

# 手をつなぐ親たち

第41号

平成27年3月31日

絵 題字 「秋のやま」こまくさ学園2くみ一同  
ワークランドべにばな 山野井 整

一般社団法人  
山形県手をつなぐ育成会

編集・発行 〒990-0021 山形市小白川町二丁目3-31 山形県総合社会福祉センター内  
TEL(023)623-6572 FAX(023)623-6571 E-mail:y-ikuseikai@codacoda.ocn.ne.jp 発行責任者 田中俊久  
ホームページ <http://yamagata-ikuseikai.net/> ブログ <http://yamagatakenikuseikai.blog.fc2.com/>

平成26年度山形県知的障がい者相談員・支部会長合同研修会を11月19日(水)・20日(木)の二日間にわたって、山形県身体障害者保養所「東紅苑」(東根市温泉町)で開催しました。本研修会の趣旨は、各地域で身近な相談窓口として重要な役割を担っている知的障がい者相談員等が、今日的課題を踏まえて質の高い活動ができるようにすることです。そこで今回の研修テーマを、「サービス等利用計画に関する



講師の話に熱心に耳を傾ける受講者

11/19・20  
**平成26年度**  
**知的障がい者相談員研修会**  
「サービス等利用計画の作成はどうなっているか?」

理解を深める」としたところです。本研修会では、テーマに深くかかわってきた三人の講師をお招きして、熱心な質疑応答により、相談員等が取り巻く多くの課題に対する取組を明らかにすることができました。以下、各講師による講演概要を紹介いたします。

第1日目 11月19日(水)

## 第一部

「山形県の障がい福祉施策等について」

山形県健康福祉部障がい福祉課

課長補佐 鹿間 一彦 氏

山形県の療育手帳所持者が八千人弱、高齢者が千人弱で高齢化率が12・1%。全国平均9・3%をうわまっています。グループホーム等利用者が平成18年度と24年度比較では、倍近く増えています。24年度現在千人弱になっています。地域移行が確実に進んでいます。



障がい福祉課課長補佐  
鹿間 一彦 氏

山形県の障がい者施策推進の基本方針は、次の4つです。

- ① 障がい者の高齢化に応じた支援  
↓ 障害者支援施設等の高齢化実態調査（施設入所者の高齢化に伴う課題の把握、支援方策の検討）

- ② ライフステージに応じた総合的な支援体制の整備  
↓ 発達障害児（者）等のための情報共有ツール「やまがたサポートファイル」の試行  
↓ 就労支援 「障害者就業・生活支援センター」の設置・運営
- ③ 「山形県工賃向上計画の推進」  
様々な障がいへの対応の変化
- ④ 障がい医療・特定疾患対策の充実

受講者からは、次のような意見・要望が出されました。

- 地域で緊急のショートステイ対応する施設がなく、重度だからと断

られて困っている例もあります。

- 高齢化で介護保険適用と機械的に切り替える市町村と今までどおりで対応するところとまちまちです。サービス低下にならないようにしてもらいたい。

- 工賃向上も事業所によつては、目標にはるかにおよばないところも多いのが実情です。

- 各地域の育成会でも、若い親たちへの啓発活動ということで、若い人たちが集まりやすい企画を実施しています。

## 第二部

### 「サービス等利用計画作成の相談支援事業所の現状と課題」

相談支援事業所アイアイ  
相談支援専門員 吉田 一斉 氏

#### ① 「相談支援事業所」は何をするところ？

- 相談事業所は、「サービス（社会資源）」の紹介、希望する生活の実現、本人と家族のズレをすり合わせ等について、お手伝いするところ

- 相談事業所を活用すると、次のような流れになります。
- 1 必要な手続きについて自分に

合った事業所を探します

- 2 受給者証の発行をします
- 3 利用希望の事業所と契約します
- 4 相談事業所では、「利用サービスの組み立て」「制度手続きのお手伝い」「計画作成とモニタリング」を実施します

#### ② 「サービス等利用計画」って何？

- ポイント。かかりつけ。相談支援事業所を見つける
- サービス等利用計画はいつ作る？

障がい福祉サービスを利用して次の要望を叶えたい時です。

- 「働きたい」「暮らしたい」「出かけた」「生活を手伝って欲しい」「施設から出たい」「退院したい」「自宅で暮らし続けたい」等々。
- サービス等利用計画の中身は？

本人の要望を叶えるために、「生活の組み立て」「必要な福祉サービスの種類・量・頻度」を作成、平成26年度中に、利用者全員に作成の予



相談支援専門員  
吉田 一斉 氏

定。

- 相談にあたって

相談は無料、手帳の有無を問わない、秘密厳守。

- 今後の課題

地域の知的障がい者相談員、民生児童委員、地域包括支援センター等の連携。相談支援の制度の周知。相談支援の量の確保、相談支援専門員の質の確保。

受講者からは、次のような質問及び意見がありました。

- 地域では、十分な福祉サービスが整備されていないため、要望がかなわないケースもあります。

○ サービスがなければ利用できない。適切な製品がないと、購入できないと同じこと。サービスの整備に向けて積極的に要望してゆく必要があります。

#### 第2日目 11月20日（木）

### 「事例を通じてサービス等利用計画作成が抱える課題」

地域生活センター心音

南部支援センター長

竹田 雅彦 氏

- 相談支援とは
- 障がいのある方やご家族等から生

活等に関しての困りごとを相談いただく。その相談に対して、よりよい地域生活を送るためにはどうしたらよいか一緒に考える。必要に応じて支援を行い、安心して地域生活が送れるよう支援を行うことです。

○ 相談支援専門員の支援内容

- ・日常生活や福祉サービスの利用に関する支援
- ・手続きの代行やサービス利用計画のプラン作成支援
- ・社会参加や余暇活動等に関する支援

○ 権利擁護に関する支援

- ・知的障がい夫婦 互いの意思疎通がうまくいかず、暴力沙汰が生じた。

○ 相談事例

- ・家族からの虐待 父の娘に対するDV
- ・生活保護世帯 別居の母が生活保護費を持っていつてしまう。

○ 今後の課題

- ・現在サービスを利用して安定している人・家族にとっては、手間が一つ増える。



南部支援センター長  
竹田 雅彦 氏

施設を出て地域（グループホーム等）生活をするにもお金がかかる。

- ・相談支援専門員一人当たりの相談件数が多過ぎる。
- ・相談支援専門員と地域関係者との密接な連携が必要。

- ・相談支援事業所が全てを解決することはできない。

受講者からは、次のような質問や意見がありました。

○ 家族と本人の願いにギャップがあつたらどのように解消すればよいか。

○ 本人の良さを十分ふまえ、家族の心配を明らかにして、お互いの歩み寄りを図ることが大事です。

### 相談員の交流機会を得て

本研修会は、毎年1泊2日の日程で行っています。

3人の講師による講話は、今日的な課題を網羅するものであり、相談員等が身につけておくべき内容を学ぶことができました。

さて、県内において、知的障がい者相談員は、64名が指名されています。今回の研修会の参加者は1日目が41名、2日目が21名でした。その他に、情報交換会には11名、宿泊が9名であり、年々密な交流が減って

きているのが現状です。

なお、【平成26年度知的障がい者相談員としての実情と課題】について、主な意見は次のようなものです。

- ・積極的に知的障がい児者の相談開拓はできていませんが、会長をしている会や、管内の他の会などの交流を通じその都度相談に対応しています。

- ・お茶を飲みながらあるいは立ち話などの形がほとんどで、あらたまつての「相談」というものはありません。

- ・障がい者からの日常の情報、こんな時はどうしたらよいかなどについて相談があります。

- ・手をつなぐ育成会の保護者の情報交換会等に出席しつながりを持っています。

- ・家族・本人とゆっくりふれ合う時間が取れないのが現状です。

- ・地域相談支援事業所が窓口となり、充実した支援計画を作成し対応している現在、我々相談員の役割はどうあるべきでしょうか。見直しが必要だと思います。

- ・障がい者福祉課の窓口や、指定事業所の配置により、相談員の活動は役割を終わりとつあると思います。

- ・子どもが小さかった頃に相談に訪れた方から再度連絡があり、現在の家族の問題等を話してくれました。相談者がいつでも気軽に話ができる所として認識していただけるよう努めたいと思います。

- ・対象者情報・収集が困難、障がい者家族との情報交換をする場所が少ない現状にあり、何らかの手段やしくみ作りが必要です。

- ・今年度から相談員として活動していますが、近い方も私が相談員だと知りませんでした。

相談活動はうまくいっていますか？

右記の問いを本研修会参加者にしたところ、25名の回答があり、次のような結果でした。

- ・「うまくいっている」0名
- ・「まあまあうまくいっている」7名（28・0％）
- ・「うまくいつてない」14名（56・0％）

- ・回答なし4名（16・0％）

以上の結果から、半分以上の知的障がい者相談員が役割を全うすることができていないという認識です。

地域の福祉活動の担い手として困り感をつなぐ役割をどうすれば発揮できるか、相互研修を積んでいく必要があります。

## 平成26年度 第6回地域活性化事業

### 「障害基礎年金の研修会」

その時になつて慌てないように  
今から心がけておくこと

酒田市で開催

「酒田市手をつなぐ育成会の協  
力で11月6日（木）午前、東北公  
益文科大学（酒田市）で「障害基  
礎年金の研修会」を開催するこ  
とができました。



多数の参加で盛況だった障害基礎年金研修会 東北公益文化大学で開催



サポートセンターつるおか  
所長 伊澤さおり 氏

講師には、伊澤さおり氏（サ  
ポートセンターつるおか所長）を  
お迎えして、年金申請の手続き、  
申請書類の書き方、診断しても  
らう医師とのコンタクトの取り方  
等、わかりやすく話していただき  
ました。これから申請する人も大  
いに参考になる話をお聞きするこ  
とができました。

なお、参加者で既に年金受給さ  
れている人もその申請にあたって  
の経験も語ってくれました。

参加人数も、54人と本当に若い  
方から高齢者まで幅広い人たちに  
集まってもらうことができました。

## 平成26年度 第7回地域活性化事業

### 「障害児者と家族の権利擁護の研修会」

障がいのない  
きょうだいのためのメッセージ

山形市で開催

有馬桃子氏（臨床発達心理士）  
を東京よりお招きして、「障がい  
のないきょうだいの問題」を講演  
していただきました。

有馬氏は今年度新庄市（9月26  
日）でも講演し、山形市において  
2回目でした。

山形市手をつなぐ育成会の協力  
で、山形市総合福祉センターにお  
いて、11月21日（金）午前に開催  
いたしました。参加者は52人。育  
成会会員以外の方も多く参加して  
もらいました。

現在、障がい児者のきょうだい  
への支援が不十分で、その悩み  
に対する理解が足りません。

成長の過程の中で、障がいのあ  
るきょうだいのとの関係で様々な葛  
藤が生じています。

障がいのないきょうだい達に  
とって、率直なコミュニケーション  
や適切な情報提供が欠かせませ  
ん。あせらず、自分自身を認める  
姿勢が重要です。



臨床発達心理士  
有馬 桃子 氏



きょうだいの問題に耳を傾ける参加者

# 各ブロック別 知的しょうがい者レクリエーション教室を開催

## 新庄最上ブロック

8月10日(日)、山屋セミナーハウス(新庄市)で開催しました。1市7町の育成会が一堂に会しての盛大なレクリエーションとなりました。まり入れでは大声援が巻き起こりました。みんなで大きな輪を作り、花笠音頭を踊って楽しい一日を過ごしました。参加者は110人でした。



かごめがけてのまり入れ うまくいったかな



みんなで盆踊り

## 庄内ブロック

12月13日(土)、鶴岡市にある「かたぐるま」で開催しました。軽スポーツ、そば打ちを行いました。軽スポーツで汗を流した後、おいしいそばでお腹いっぱいになりました。参加者は50人でした。



うまくボールをまてに入れられるか 得点は何点?



みんなでいただきま〜す!!

## 北村山ブロック

12月6日(土)、山形県身体障害者保養所「東紅苑」(東根市温泉町)で開催しました。軽スポーツを楽しんだ後はみんなでお食事しました。参加者は、60人でした。



ペットボトルめがけてあてるその意気込み



楽しく会食

## 置賜ブロック

10月28日(火)、飯豊少年自然の家(飯豊町)で開催しました。3市4町の育成会の会員たちが集まって、元気に楽しい活動が出来ます。出来ました。参加者は、120人でした。



わなげに夢中 みごと命中 すごいぞ



工作に夢中

# 「山形市手をつなぐ育成会」で成人を祝う会

「成人を祝う会」が1月12日（月）参加者26名のもと山形国際ホテルで何年かぶりで盛大に開催されました。この度、伊藤晃基さんが新成人にられました。おめでとうございます。

伊豆田会長のあいさつ、佐々木

顧問の祝辞があり、晃基さんからは「ありがとうございます。べにばなでがんばります」のあいさつがありました。その後、晃基さんのお母さんからは「これからの長い人生を、息子とともに歩んでいきたいと思います」とあいさつがありました。



新成人「伊藤晃基」さんとお母さん

おいしいごちそうをいただきながら、カラオケや紅白に分かれてカンツミゲームなどをしました。和やかで、楽しい雰囲気の中に閉会しました。

## 伊藤晃基さんのあいさつ

「きょうは、ありがとうございます。いまは、（ぼくはこれから）ワークランドべにばなで、（いろいろなさぎょうを）がんばります。」

## 母の伊藤洋子さんからの挨拶

本人に代わりましてごあいさつさせていただきます。

昨日（1月11日）山形市の「平成27年成人の祝賀会」に参加してまいりました。以前は、この子が参加するのは無理と思っていました。が、育成会の先輩方のアドバイス、応援いただき、思い切って私が付き添い参加いたしました。た

くさんの正装、晴れ着姿に緊張しておりましたが、ステージでは2分の1成人式の小学4年生、4分の1成人式の5歳の幼稚園年長さんでお祝いのコーナーがありました。私はステージを見ながら当時のわが子の姿を思い出しておりました。5歳のころは学園（千葉市の療育センター大宮学園）で、泣き虫こうちゃんて有名でいつも専用の名前付ティッシュの箱と一緒に

ラ、ドキドキの連続で想像もできなかった我が子の成人式の今日のこの日が、こんなに穏やかな気持ちで迎えられました。これからの方が長い道なのです。これからも先輩の皆様の知恵やお話で勉強させていただきながら親子で楽しく歩んでいきたいと思っていますので、よろしくお願います。今日はほんとうにありがとうございました。

緒でした。10歳の頃は、丸2年学校の給食を一口も食べず、先生を困らせていたガンコ者でした。その子が今この通り、好き嫌いもなくよく食べ、見上げるほど大きくなり肥満を心配するほどになりました。そして毎日張り切ってワークランドべにばなに通っています。そして母であるわたしも先輩の方々のアドバイスのおかげで成人の祝賀会に参加できたことで改めてこの子の成長を感じることができました。あのころのハラハ



新成人の伊藤晃基君を中心に参加者全員で集合写真

## 北村山地区研修会

# 落語を楽しみ、障がい福祉制度を学ぶ研修会で、ほっとした交流

会場である東根市の身体障がい者保養所「東紅苑」に軽快な手拍子と、明るい笑い声が響きわたりました。11月21日（金）、北村山地区手をつなぐ育成会「会長・高橋 清（東根市）」では「平成26年度会員研修会」を開催しました。午前中は、東根市のさくらんぼ



南京玉すだれの妙技を披露

落語愛好会の胃仲家百勝（いなかやひやくしよう）さんと乃芽家一壺昇（のめやいっしょう）さんによる、プロ顔負けの「南京玉すだれ」と「落語」で大いに笑い、おながすいたところでおいしい昼食で盛り上がりました。

午後は、講義として「療養手帳Q & A ～こんなメリットが！～」と題し、東根市役所福祉課からの説明をいただき、活発な質疑応答が交わされ、講義終了後も、講師を囲み行政としての方向性や制度に関する情報提供を求める場面も見られました。

北村山地区手をつなぐ育成会で毎年開催している事業で、27名が参加しましたが、前年度と今年度については、北村山管内の各市町手をつなぐ育成会会員以外にも、楯岡特別支援学校と東根市内小・

中学校の特別支援学級の保護者にも参加を呼び掛けました。

そんなことから、「かたい」内容の研修よりも、みんなで一緒に笑いながら交流し、子供たちの身近な知識をおさらいする内容にしよう」と計画し、この研修会以外でも各市町において、手をつなぐ育成会会員と会員以外の「若い」親たちとの交流と親睦が図られると確信しております。

会場が保養所であったため、あったかい昼食と、研修終了後のあったまる温泉での「ほっとした交流」を深めることができました。



「療養手帳」に関する役立つ話

知的障害児者・自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度

# 生活サポート総合補償制度

※お申し込み・お問い合わせは・・・

山形県知的障害児者  
生活サポート協会  
推進担当

JIC

A I U損害保険(株)代理店(株)ジェイアイシー 南東北支店

〒980-8485 仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン18F

TEL:0120-294-747 FAX:022-264-0081

ホームページ: <http://www.jicgroup.co.jp>

スポーツプログラムに参加してみませんか



2014年福岡大会 開会式山形県代表入場行進

(山形、酒田、米沢、置賜、新庄・最上) バスケ、ボート、アルペンスキー(山形)、クロススキー(米

スペシャルオリンピックス (SO) とは、知的障がいのある人たち(アスリート)に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。SO が提供する継続的なスポーツ活動は、アスリートたちの健康や体力増進、スキルの向上を促進するだけでなく、多くの人々との交流は彼らの社会性を育んでいきます。また、参加するボランティアたちもアスリートから多くのことを学びます。スペシャルオリンピックス日本・山形の活動は9年目を迎え、水泳(山形、米沢・置賜、鶴岡、酒田)陸上(山形、米沢・置賜)、ボウリング

2014年には福岡県で夏季全国大会が開催され、山形からも36名の選手団が参加し、アスリートは多くの経験と自信を得て、大きく成長した姿を見せてくれました。さらに、2015年7月にロスアンゼルスで開催される夏季世界大会には2名のアスリートが参加することが決まっています。スペシャルオリンピックスは一人一人に合わせてプログラムを進めていきます。あなたも



2014年福岡大会 陸上競技で山形県選手力走

沢・置賜)、スケート(フィギュア・スピード)(山形)、フロアホッケー(山形、鶴岡、米沢・置賜)、フライングディスク(鶴岡)の各プログラムに7歳から60歳台の方まで、延べ300名のアスリート、150名のコーチ・ボランティアが参加し、月2回のトレーニングを行っています。

編集後記

◆今号は、各地区育成会の活動を多く紹介する内容となりました。育成会活動を進める基本は、地区育成会がいかにかに多彩な活動をしていくにかにかかっています。今後とも多くの関係者の協力を得て、活発な内容を展開し、魅力ある育成会にしたいものです。ぜひ、各地区の育成会活動を参考にし、地域密着の活動を推進してください。スペシャルオリンピックス山形の躍進も全県下に広まっています。各地区においても、積極的に参加してください。

◆編集委員(武田満・押切イツ子・山口由美子・古澤薫・八鍬三郎・黒木仁)

できることから始めてみませんか。SON・山形ではアスリート、ボランティアを常時募集しています。詳しくはSON・山形事務局までお問い合わせください。(電話) 023・632・3430



2014年福岡大会 山形県選手団

病気・ケガの入院 個人賠償補償 被害事故の解決

障がいのあるご本人と、そのご家族・施設従事者のための総合保険です。

ぜんちの あんしん保険

平成25年料率改定

少額短期保険(国保型)2012年改定

※この広告は商品の概要を説明するものです。ご契約の際は必ず「契約書」を御覧ください。

保障内容(A-1プランの場合 年間保険料17,000円)

死亡保険金	10万円	法律相談費用	5万円(※1)
特定重度障害保険金	10万円	弁護士委任費用	100万円(※1)
入院保険金	1日につき 8,000円(※2)	接見費用	1万円
入院一時金	10,000円	個人賠償責任保険金	※1※2 1,000万円
傷害通院保険金	1日につき 1,000円		

詳しい資料のご用命は、下記代理店へお願いいたします。

〇取扱代理店

株式会社エフシーバンク TEL 022-348-4481

〒981-3213 宮城県仙台市泉区南中山3-11-18

〇引受保険会社

ぜんち共済株式会社  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-8  
岩本町シティプラザビル 5F